

コミュニティ・スクールを全市立学校で推進しています

さいたま市では、令和4年度から全ての市立学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携・協働して、子どもたちの未来を見据えた教育活動を展開していきます。



熟議の例

「コミュニケーション力」をはぐくむためにはどんなことが必要か、学校運営協議会で行われた熟議の様子を紹介します。

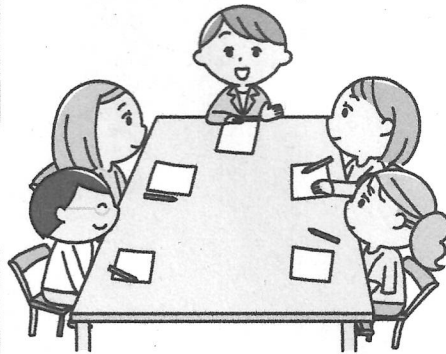
学校運営協議会

校長先生

児童が自分の考えをもち、自信をもって表現できるよう具体的な指導方法の改善を図り、全学年で系統立てて指導していく

保護者Aさん

将来、乗り越えなければならぬ壁に立ち向かうためにも、やり抜く力が大切です。



保護者Dさん

子どもたちの意欲が高まるような取組を提案させてみませんか。

地域住民Cさん

感動や達成感を味わえる学校や地域の行事などを洗い出し、できるだけ多くの大人が関わり、支援する仕組みを考えましょう。

地域住民Bさん

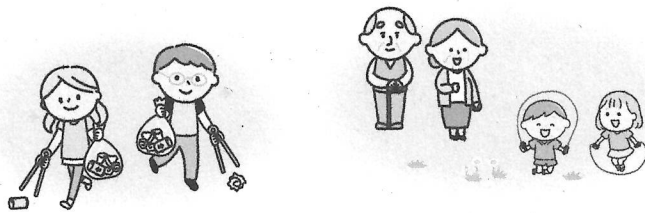
学校や家庭だけでなく、私たち地域住民も子どもを励ましたり、支援したりする必要がありますね。

「熟議」による「協働」が進み、学校・家庭・地域が目標・ビジョンを共有した取組が展開します

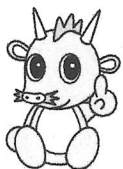
「コミュニケーション力」

目標を共有して、協働します

学校 連携 家庭 連携 地域



- ボランティア活動に参加する
- 家のお手伝いを続ける など



さいたま市PRキャラクター
つなが電又ウ

さいたま市は、学校・家庭・地域の連携・協働により、コミュニティ・スクールを全校において実施し、子どもも大人も学校も地域も元気になる、「生涯の学びを通じて自分とまちが輝く未来」を創っていきます。

さいたま市のコミュニティ・スクールについてもっと知りたい方は [さいたま市 コミスク](#) で検索！